

Eleanor Rigby

(Refrain)

Ah, look at all the lonely people

Ah, look at all the lonely people

(Verse 1)

Eleanor Rigby picks up the rice in the church

where a wedding has been

Lives in a dream

Waits at the window, wearing the face that she

keeps in a jar by the door

Who is it for?

(Chorus)

All the lonely people

Where do they all come from?

All the lonely people

Where do they all belong?

(Verse 2)

Father McKenzie writing the words of a sermon

that no one will hear

No one comes near

Look at him working, darning his socks in the

night when there's nobody there

What does he care?

(Chorus)

(Refrain)

(Verse 3)

Eleanor Rigby died in the church and was buried

along with her name

Nobody came

Father McKenzie wiping the dirt from his hands

as he walks from the grave

No one was saved

(Chorus)

.....
「エリナー・リグビー」(Eleanor Rigby)はザ・ビートルズ(The Beatles)の1966年に発表された7作目のアルバム「リボルバー」(Revolver)に収録され。ビートルズが単なるティーン・エイジャー向けのアイドル・バンドでないこと、ロックが芸術的表現できる音楽であることを示した作品だと言われている。エリナー・リグビーという身寄りのない老女と、だれからも相手にされないマッケンジー神父という架空の人物の物語。

[繰り返し]

ああ 孤独な人々を見てごらん

ああ 孤独な人々を見てごらん

[1 番]

エリナー・リグビー 結婚式をしている教会で

ライスシャワーのお米を拾うんだ

彼女は夢の中を生きている

窓辺で待っている

化粧をした顔で

いったい誰のために?

[コーラス]

すべての孤独な人々は

どこから来るの?

すべての孤独な人々は

どこに居場所があるの?

[2 番]

マッケンジー神父は原稿を書いている

だれも聞かない説教の言葉を

誰も彼に近寄らない

彼が仕事をしているのを見てごらん

夜 誰もいない時に靴下の綻びを繕っている

彼は何を気にしてるんだろう

[コーラス]

[繰り返し]

[3 番]

エリナー・リグビーは教会で死んで

その名を刻んだ墓に埋葬された

葬儀には誰も来なかった

マッケンジー神父は手についた土をぬぐった

彼女の墓から立ち去るときに

結局、誰も救われなかったのだ

[コーラス]

.....
「エリナー・リグビー」のテーマは「孤独」。「all the lonely people」はどの人も孤独である現代社会を象徴していると言われる。

ウェブサイト参照

<http://www.magictrain.biz/wp/blog/2011/07/28/エリナー・リグビー-歌詞和訳ザ・ビートルズ-the-beatles/>